

2020年、大学入試改革

変わる、中高入試

国語力をつけよう!

「今年(平成28年3月実施)の県立高校入試は、過去問対策が全く役に立たなかった。」広島のある塾長の嘆きです。

いったいどういうことなのでしょう?

結論から言うと、入試傾向が大幅に変わり、ほとんどの教科が記述式になって、思考力・判断力・応用力・表現力・問題解決能力を問う問題に大きくシフトしたということです。

この現象の背景には2020年の大学入試改革を見越した動きがあることは確実です。すでに、関東地方の中学入試では記述問題の割合が70%を越え、記号問題は年々影を潜めています。岡山でも、県立の適性検査問題には記号問題が一問もありません。また、岡山中学をはじめ5つの私立中学で、この適性型の入試を採り入れた出題が行われ、合格者の半数以上を占めていて、今や中学入試の主流となりつつあります。

こうした、2020年の大学改革をにらんだ新しい動きの対策はただ一つ、「国語力をつけること」です。それでは、国語力とは何でしょうか?

私は、「抽象化と具体化を自由に行き来できる力」だと定義しています。

- **抽象化**… 一見バラバラの事象の共通点を見いだして、短い言葉で表現すること。

例…「猿も木から落ちる」「河童の川流れ」「弘法も筆の誤り」で、「猿」「河童」「弘法」を抽象化すると、「名人」。「木から落ちる」「川流れ」「筆の誤り」を抽象化すると「失敗する」。ここから、「名人でも失敗することがある」、さらに進んで「油断大敵」となります。

- **具体化**… 事実や例・体験などをあげて証明すること。

例…「油断大敵」を物語として具体化すると、「ウサギとカメ」になります。また、ことわざとして具体化すると「猿も木から落ちる」等になります。

岡山県の適性検査には、200字の作文が毎年課せられます。パターンは同じです。まず「あなたの意見」(抽象)、次に「そう言える理由」=体験(具体)です。この具体への落とし込み(具体化力)の差が食不食の分かれ目なのです。面接でもまったく同じことが言えます。このほか、要約問題(説明文)・主題を問う問題(物語文)では、抽象化力が問われます。

どうすれば抽象化力・具体化力がつくの?

- ① 記号問題でも本文を根拠に、論理的に解くことを習慣化する。

論理的に解いているかどうかすぐに分かるのは、なぜア(その答え)なのか説明できるかどうかです。「国語ニガ手くん」は、論理性をぶっ飛ばして動物的な?カンに頼ります。なまじ当たると成功体験となり、「オレは、カンがいい」なんてことになって、ますますカンに頼るという悪循環に陥ります。この悪循環を断ち切るには、半ば強制的に短い文章から記述問題を解く練習を積むしかありません。(「10の法則」→「記述のツボ」→「天声人語要約」が有効です)

※ 続きはホームページにアップしますので、是非ご覧下さい。

ゴールデンウィーク休校のお知らせ

4月29日(金)～5月5日(木)は完全休校です。

※5月6日(金)より授業を再開いたします。

info@sola-e.net FAX 086-255-5402

4月23日(土)月例テストについて

4/23(土)は月間予定表でお知らせしている通り、授業時間・時間割を変更して、以下の要領でカリキュラムテストを行います。

	①13:00 ～13:50	②13:55 ～14:45	③14:50 ～15:40	④15:45 ～16:35	⑤16:40 ～17:30	⑥17:35 ～18:25	⑦18:35 ～19:45
小5	理科 前田	国語 小島	理科 前田	カリキュラムテスト 国語	算数 前田	カリキュラムテスト 算数	カリキュラムテスト 理科・社会
小6	国語 小島	理科 前田	カリキュラムテスト 国語	理科 前田	カリキュラムテスト 算数	算数 前田	カリキュラムテスト 理科・社会

	①13:00 ～13:40	②13:45 ～14:25	③14:30 ～15:00
小4	カリキュラムテスト 国語	カリキュラムテスト 算数	カリキュラムテスト 理科